



## 2022年1月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年3月14日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社  
 コード番号 3657 URL <https://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

定時株主総会開催予定日 2022年4月21日

配当支払開始予定日

2022年4月22日

有価証券報告書提出予定日 2022年4月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期の連結業績(2021年2月1日～2022年1月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期	34,252	28.1	3,305	2.7	3,382	5.9	2,241	5.7
2021年1月期	26,729	2.3	3,217	8.9	3,595	3.5	2,119	18.6

(注) 包括利益 2022年1月期 2,581百万円 (43.1%) 2021年1月期 1,803百万円 (7.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年1月期	59.16		13.5	15.9	9.6
2021年1月期	55.99	55.96	14.2	18.8	12.0

(参考) 持分法投資損益 2022年1月期 67百万円 2021年1月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期	22,281	17,646	79.2	467.17
2021年1月期	20,389	15,675	76.9	413.64

(参考) 自己資本 2022年1月期 17,638百万円 2021年1月期 15,671百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月期	1,844	2,661	659	9,735
2021年1月期	2,040	963	468	11,158

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年1月期		0.00		13.00	13.00	492	23.2	3.3
2022年1月期		0.00		14.00	14.00	528	23.7	3.2
2023年1月期(予想)		0.00		15.00	15.00		23.6	

### 3. 2023年1月期の連結業績予想(2022年2月1日～2023年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,739	21.0	1,409	6.8	1,371	11.4	712	21.5	18.69
通期	40,088	17.0	4,002	21.1	3,926	16.1	2,428	8.3	63.64

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期	38,156,000 株	2021年1月期	38,156,000 株
期末自己株式数	2022年1月期	400,502 株	2021年1月期	269,734 株
期中平均株式数	2022年1月期	37,881,028 株	2021年1月期	37,865,200 株

(参考) 個別業績の概要

2022年1月期の個別業績(2021年2月1日～2022年1月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期	1,858	18.9	879	0.8	274	35.1	446	466.9
2021年1月期	1,563	29.8	872	65.7	422	1.5	78	73.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期	11.79	
2021年1月期	2.08	2.08

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2022年1月期	6,471	5,438	5,438	5,609	84.0	144.05	144.05	
2021年1月期	5,664	5,609	5,609	5,609	99.0	148.07	148.07	

(参考) 自己資本 2022年1月期 5,438百万円 2021年1月期 5,609百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社は、決算に関する説明(動画)及び説明資料について、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）対策に万全を期し、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されますが、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要があります、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、世界的な感染症拡大に伴う外出自粛により、ゲームソフト市場が拡大しておりますが、ハード市場では半導体不足の影響を受けております。一方、ネットサポート事業の関連市場においては、同様に、非対面型、非接触型サービスであるEコマース、キャッシュレス決済市場が拡大しております。また、感染症拡大は、学校における授業のオンライン化を促進させることになり、政府によるGIGAスクール構想の重要性も増しております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。市場において新たなサービスが創出されることにより、デバッグ・検証事業及びネットサポート事業ともにビジネスチャンスにつながっております。当連結会計年度においては、当社及び主要子会社の営業・管理部門を同一オフィスへ集約するため、2月に本社移転・増床を行いました。また、当社は経営効率化の観点から、3月に中間持株会社であるペイサー株式会社を吸収合併いたしました。ポールトゥウィン株式会社では、メディア・コンテンツ関連事業の拡大を図ることを目的として、2月に株式会社CRESTへゲームの難易度等のチューニング、開発サポートに関する事業を譲渡いたしました。ゲーム以外のソフトウェアやシステム開発を受託すると同時に第三者検証サービスも受託することを目的として、7月に株式会社MSDホールディングスを子会社化いたしました。また、デバッグ業務とセキュリティ診断を融合したサービスを展開することを目的として、1月に株式会社Ninjastarsを子会社化いたしました。株式会社キュービスト及び株式会社CRESTは、両社のメディア・コンテンツ事業分野におけるシナジーを向上させるために、4月に同一ビルへ本社移転・増床を行いました。株式会社キュービストでは、ゲームグラフィック受託開発のシェア向上を目的として、8月にPanda Graphics株式会社を子会社化いたしました。エンタライズ株式会社では、音声収録に関する対応能力向上を目的として、8月に株式会社デルファイサウンドを子会社化いたしました。ピットクルー株式会社では、今後の受注増加を見据え、7月に新潟サービスセンター開設、仙台サービスセンターを移転・増床いたしました。また、経営資源の集約、効率化を目的としてアイメイド株式会社を吸収合併いたしました。海外では事業拡大を目的として、OneXP LLC（米国現地法人）、OneXP UK Limited（英国現地法人）、1518 Studios Rus LLC（ロシア現地法人）及びSIDE France SAS（フランス現地法人）を設立いたしました。国内拠点と海外12ヵ国21拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、音声収録、ゲーム開発・マーケティング支援、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は 34,252,376 千円（前年同期比 28.1%増）、営業利益は 3,305,200 千円（同 2.7%増）、経常利益は 3,382,780 千円（同 5.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 2,241,103 千円（同 5.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、国内外グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）、音声収録等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスの受注を推進いたしました。株式会社クアーズでは、ノンゲーム市場における第三者検証サービスの受注が増加いたしました。株式会社キュービスト、株式会社カラフル、Panda Graphics株式会社、株式会社CRESTでは、グラフィックやゲーム・アニメ制作に関連するメディア・コンテンツ業務の拡大を推進いたしました。また、株式会社MIRAI Service Designでは、官公庁から感染症に関する各種申請を受け付けるシステムの開発を受注いたしました。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は 26,439,240 千円（前年同期比 31.3%増）となりましたが、M&Aに関連する一時費用やゲーム・アニメ制作をはじめとしたメディア・コンテンツ業務の拡大に関連する先行費用が増加し、営業利益は 2,461,133 千円（同 7.1%減）となりました。

② ネットサポート事業

当事業におきましては、QRコード決済や仮想通貨等のフィンテック関連サービスにおける不正モニタリング、本人確認手続き、アンチマネーロンダリングや振る舞い検知サービスの受注が増加いたしました。AI関連サービスにおけるデータ認識評価や、デバッグ・検証事業との営業連携によりゲーム市場向けのカスタマーサポートの受注も増加いたしました。また、ピットクルー株式会社では政府のGIGAスクール構想に基づく学校ICT化サポート事業者として、ICT環境整備の設計等のサービスを受注いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は7,580,748千円（前年同期比17.7%増）、営業利益は819,736千円（同34.0%増）となりました。

③ その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しております。ピットクルー株式会社では旧アイメイド株式会社の事業を譲受し、医療機関で働く外国人材のビザ取得や就学等、国内生活手続きをサポートするサービスを提供しております。当事業の売上高は232,387千円（前年同期比46.6%増）、営業損失は15,902千円（前年同期は139,666千円の損失）となりました。

(2) 財政状態の概況

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて762,518千円(4.5%)減少し、16,340,029千円となりました。これは、主に売掛金が436,826千円、その他(前払費用等)が171,726千円増加したものの、現金及び預金が1,423,330千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,654,682千円(80.8%)増加し、5,941,459千円となりました。これは、主に無形固定資産のその他(著作権等)が199,531千円減少したものの、工具、器具及び備品が143,797千円、のれんが1,865,511千円、無形資産が280,648千円、投資有価証券が148,066千円、繰延税金資産が305,413千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,892,163千円(9.3%)増加し、22,281,489千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて295,366千円(6.6%)減少し、4,158,641千円となりました。これは、主に未払費用が344,352千円増加したものの、未払法人税等が327,947千円、その他(前受金等)が290,791千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて216,350千円(83.1%)増加し、476,579千円となりました。これは、主に長期借入金が217,024千円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて79,015千円(1.7%)減少し、4,635,220千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,971,179千円(12.6%)増加し、17,646,268千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が1,748,582千円、自己株式が125,405千円、為替換算調整勘定が365,335千円増加したこと等によります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて1,423,330千円減少し、9,735,217千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、+1,844,490千円(前連結会計年度は+2,040,365千円)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益+3,241,419千円、減価償却費+492,796千円、減損損失+249,367千円、のれん償却額+400,659千円、固定資産売却益△230,813千円、売上債権の減少額+316,924千円、未払金の減少額△646,504千円、未払費用の増加額+217,164千円、預り金の減少額△134,141千円、法人税等の支払額△1,751,940千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、△2,661,898千円(前連結会計年度は△963,219千円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出△571,736千円、無形固定資産の売却による収入+230,813千円、投資有価証券の取得による支出△284,245千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△1,529,015千円、事業譲受による支出△477,539千円、敷金及び保証金の回収による収入+117,164千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、△659,830千円(前連結会計年度は△468,688千円)となりました。主な要因は、配当金の支払額△492,521千円、自己株式の取得による支出△125,405千円等であります。

#### (4) 今後の見通し

2022年1月期においては、株式会社MSDホールディングスをはじめとした新規連結子会社の増加により、売上が増加するとともに、提供可能サービス領域が拡大いたしました。社内体制については、事業シナジー向上、経営効率化に取り組んだ結果、子会社について、吸収合併2社の統廃合を行い、サービス機能の集約、体制のシンプル化を図りました。

2023年1月期においては、2月にポールトゥウィン株式会社、ピットクルー株式会社及び株式会社クアーズの3社合併、株式会社MIRAIt Service Design、株式会社ソフトワイズ、株式会社MSD Secure Service及び盛達テクノロジー株式会社の4社合併、5月にはポールトゥウィン株式会社及び株式会社第一書林の合併、エンタライズ株式会社及びPTW ジャパン株式会社の合併を予定しております。当社グループ内の経営効率化を図るとともに、M&Aによりサービス領域の拡大を推進している中、従来のセグメント区分である「デバッグ・検証事業」、「ネットサポート事業」、「その他」では当社グループの事業実態を反映することが困難になってきております。そのため、2023年1月期より現状の当社グループの事業実態に合わせて「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントに改めることといたしました。デバッグ・検証、ネットサポートという枠組みを超え、顧客のサービスやプロダクトのライフサイクルである企画、開発、リリース、運用、改善の各工程における課題に応じたソリューションサービスを提供してまいります。

なお、サービス・ライフサイクルソリューション事業は、以下の3つ業務に区分しております。

##### ① 国内ソリューション

国内子会社において、ゲーム市場向けには、デバッグ、カスタマーサポート、ローカライズ、海外展開支援に関するサービス提供を行っております。Tech市場向けには、ソフトウェア第三者検証、環境構築、サーバー監視、データセンター運営、キッティングに関するサービス提供を行っております。Eコマース市場向けには、モニタリング、カスタマーサポート、不正対策に関するサービス提供を行っております。

##### ② 海外ソリューション

在外子会社において、デバッグ、ローカライズ、音声収録、カスタマーサポート、製品開発サポート、グラフィック開発に関するサービスを行っております。

##### ③ メディア・コンテンツ

国内子会社において、グラフィック開発、ゲームパブリッシング、アニメ制作、マーケティング支援、バリアフリー字幕・音声ガイド制作に関するサービスを行っております。

以上により、2023年1月期の業績につきましては、売上高40,088百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益4,002百万円(同21.1%増)、経常利益3,926百万円(同16.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,428百万円(同8.3%増)を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,158,548	9,735,217
受取手形及び売掛金	4,504,541	4,941,367
商品及び製品	861	203
仕掛品	172,920	262,767
その他	1,308,165	1,479,892
貸倒引当金	△42,488	△79,419
流動資産合計	17,102,548	16,340,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	893,190	1,107,978
減価償却累計額	△544,376	△689,863
建物及び構築物(純額)	348,814	418,115
機械装置及び運搬具	23,081	23,486
減価償却累計額	△15,860	△17,741
機械装置及び運搬具(純額)	7,221	5,744
工具、器具及び備品	1,616,860	2,013,467
減価償却累計額	△1,294,048	△1,546,857
工具、器具及び備品(純額)	322,812	466,610
その他	15,306	—
有形固定資産合計	694,154	890,470
無形固定資産		
のれん	511,654	2,377,166
ソフトウェア	225,961	263,463
無形資産	—	280,648
その他	202,538	3,007
無形固定資産合計	940,155	2,924,286
投資その他の資産		
投資有価証券	654,071	802,137
敷金及び保証金	751,910	753,945
繰延税金資産	195,008	500,422
その他	128,470	135,491
貸倒引当金	△76,994	△65,294
投資その他の資産合計	1,652,466	2,126,702
固定資産合計	3,286,776	5,941,459
資産合計	20,389,325	22,281,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当連結会計年度 (2022年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	4,540	—
1年内返済予定の長期借入金	7,620	48,394
未払金	2,067,679	1,987,729
未払費用	216,301	560,653
未払法人税等	970,324	642,376
賞与引当金	56,339	79,077
その他	1,131,201	840,410
流動負債合計	4,454,007	4,158,641
固定負債		
長期借入金	34,365	251,389
退職給付に係る負債	96,572	120,856
繰延税金負債	31,950	16,626
その他	97,340	87,706
固定負債合計	260,228	476,579
負債合計	4,714,236	4,635,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,064	1,239,064
資本剰余金	2,379,899	2,379,899
利益剰余金	12,372,175	14,120,757
自己株式	△167,696	△293,102
株主資本合計	15,823,442	17,446,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,373	27,063
為替換算調整勘定	△200,676	164,658
その他の包括利益累計額合計	△152,303	191,721
非支配株主持分	3,950	7,926
純資産合計	15,675,089	17,646,268
負債純資産合計	20,389,325	22,281,489



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
売上高	26,729,396	34,252,376
売上原価	18,721,803	24,535,211
売上総利益	8,007,593	9,717,164
販売費及び一般管理費	4,789,914	6,411,964
営業利益	3,217,679	3,305,200
営業外収益		
受取利息	3,335	3,989
受取配当金	745	2,173
為替差益	64,718	—
保険解約返戻金	124,595	—
助成金収入	151,418	122,465
債務勘定整理益	8,645	8,081
その他	32,370	37,679
営業外収益合計	385,829	174,387
営業外費用		
支払利息	2,748	1,636
為替差損	—	10,724
持分法による投資損失	—	67,028
その他	5,034	17,417
営業外費用合計	7,783	96,807
経常利益	3,595,725	3,382,780
特別利益		
固定資産売却益	—	230,813
特別利益合計	—	230,813
特別損失		
固定資産除却損	—	59,788
投資有価証券評価損	—	63,018
減損損失	132,440	249,367
特別損失合計	132,440	372,175
税金等調整前当期純利益	3,463,284	3,241,419
法人税、住民税及び事業税	1,455,126	1,299,616
法人税等調整額	△26,125	△295,171
法人税等合計	1,429,000	1,004,444
当期純利益	2,034,283	2,236,974
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△85,709	△4,129
親会社株主に帰属する当期純利益	2,119,993	2,241,103

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
当期純利益	2,034,283	2,236,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115,496	△21,309
為替換算調整勘定	△115,517	342,384
持分法適用会社に対する持分相当額	—	23,130
その他の包括利益合計	△231,013	344,204
包括利益	1,803,270	2,581,179
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,888,953	2,585,129
非支配株主に係る包括利益	△85,682	△3,950

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,237,674	2,377,916	10,706,356	△169,686	14,152,260
当期変動額					
新株の発行	1,390	1,390			2,780
剰余金の配当			△454,174		△454,174
親会社株主に帰属する当期純利益			2,119,993		2,119,993
自己株式の処分		592		1,989	2,582
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,390	1,983	1,665,818	1,989	1,671,182
当期末残高	1,239,064	2,379,899	12,372,175	△167,696	15,823,442

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	163,869	△85,133	78,735	89,633	14,320,629
当期変動額					
新株の発行					2,780
剰余金の配当					△454,174
親会社株主に帰属する当期純利益					2,119,993
自己株式の処分					2,582
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△115,496	△115,543	△231,039	△85,682	△316,722
当期変動額合計	△115,496	△115,543	△231,039	△85,682	1,354,459
当期末残高	48,373	△200,676	△152,303	3,950	15,675,089

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,239,064	2,379,899	12,372,175	△167,696	15,823,442
当期変動額					
剰余金の配当			△492,521		△492,521
親会社株主に帰属する当期純利益			2,241,103		2,241,103
自己株式の取得				△125,405	△125,405
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	1,748,582	△125,405	1,623,177
当期末残高	1,239,064	2,379,899	14,120,757	△293,102	17,446,619

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	48,373	△200,676	△152,303	3,950	15,675,089
当期変動額					
剰余金の配当					△492,521
親会社株主に帰属する当期純利益					2,241,103
自己株式の取得					△125,405
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△21,309	365,335	344,025	3,976	348,001
当期変動額合計	△21,309	365,335	344,025	3,976	1,971,179
当期末残高	27,063	164,658	191,721	7,926	17,646,268

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,463,284	3,241,419
減価償却費	361,896	492,796
減損損失	132,440	249,367
のれん償却額	273,956	400,659
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	39,526	△5,477
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,095	△4,763
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,269	24,284
受取利息及び受取配当金	△4,081	△6,162
保険解約返戻金	△124,595	—
助成金収入	△151,418	△122,465
支払利息	2,748	1,636
為替差損益 (△は益)	△5,920	△38,214
持分法による投資損益 (△は益)	—	67,028
固定資産売却益	—	△230,813
固定資産除却損	—	59,788
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	63,018
売上債権の増減額 (△は増加)	△910,097	316,924
未払金の増減額 (△は減少)	414,065	△646,504
未払費用の増減額 (△は減少)	53,547	217,164
未払消費税等の増減額 (△は減少)	114,885	△36,851
預り金の増減額 (△は減少)	△139,420	△134,141
その他	△740,985	△439,627
小計	2,827,199	3,469,066
利息及び配当金の受取額	3,791	7,828
助成金の受取額	151,418	122,465
利息の支払額	△2,613	△2,928
法人税等の支払額	△939,430	△1,751,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,040,365	1,844,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△261,583	△571,736
有形固定資産の売却による収入	—	2,510
無形固定資産の取得による支出	△343,190	△80,385
無形固定資産の売却による収入	—	230,813
投資有価証券の取得による支出	△182,172	△284,245
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△153,262	△1,529,015
関係会社株式の取得による支出	△64,999	—
事業譲受による支出	—	△477,539
貸付けによる支出	△7,828	△6,048
貸付金の回収による収入	11,315	12,100
敷金及び保証金の差入による支出	△234,337	△75,516
敷金及び保証金の回収による収入	34,856	117,164
その他	237,982	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△963,219	△2,661,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,759	△13,081
長期借入金の返済による支出	△6,536	△28,822
株式の発行による収入	2,780	—
配当金の支払額	△454,174	△492,521
自己株式の取得による支出	—	△125,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,688	△659,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,920	53,907
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	644,377	△1,423,330
現金及び現金同等物の期首残高	10,514,170	11,158,548
現金及び現金同等物の期末残高	11,158,548	9,735,217

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、ソフトウェア・ハードウェアの品質向上をサポートするために不具合の検出を行うデバッグ・検証事業及びインターネットの健全な成長をサポートするために種々のコンテンツに含まれる違法有害情報の検出や不正利用の検出を行うネットサポート事業を主要な事業としております。

したがって、当社は、経営組織の形態とサービスの特性に基づいて、「デバッグ・検証事業」及び「ネットサポート事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な業務は、「デバッグ・検証事業」は、デバッグサービス、検証サービス及び翻訳サービスに関する業務を行っております。「ネットサポート事業」は、ネットモニタリングサービス及びカスタマーサポートサービスに関する業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務 諸表計上額 (注) 5
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,129,809	6,441,040	26,570,850	158,546	26,729,396	—	26,729,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,577	184,181	186,758	—	186,758	△186,758	—
計	20,132,386	6,625,222	26,757,609	158,546	26,916,155	△186,758	26,729,396
セグメント利益 又は損失 (△)	2,647,865	611,603	3,259,468	△139,666	3,119,802	97,876	3,217,679
セグメント資産	15,948,012	2,451,731	18,399,743	450,322	18,850,066	1,539,259	20,389,325
その他の項目							
減価償却費	288,306	45,746	334,052	12,470	346,522	15,373	361,896
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	344,137	10,794	354,931	214,433	569,364	15,507	584,872

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額 97,876 千円には、セグメント間取引消去 785,225 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△687,348 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額 1,539,259 千円には、セグメント間債権債務消去△16,818 千円、各報告セグメントに帰属しない全社資産 1,556,078 千円が含まれております。全社資産は、主に当社グループの余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
4. 減価償却費の調整額 15,373 千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
5. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務 諸表計上額 (注) 5
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,439,240	7,580,748	34,019,988	232,387	34,252,376	—	34,252,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,134	216,366	226,501	97	226,598	△226,598	—
計	26,449,374	7,797,114	34,246,489	232,485	34,478,975	△226,598	34,252,376
セグメント利益 又は損失（△）	2,461,133	819,736	3,280,870	△15,902	3,264,967	40,232	3,305,200
セグメント資産	18,115,395	2,683,728	20,799,123	179,135	20,978,259	1,303,229	22,281,489
その他の項目							
減価償却費	409,198	51,742	460,941	16,803	477,744	15,051	492,796
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	525,787	36,405	562,193	15,206	577,400	117,041	694,441

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額40,232千円には、セグメント間取引消去869,425千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△829,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額1,303,229千円には、セグメント間債権債務消去△1,023,355千円、各報告セグメントに帰属しない全社資産2,326,585千円が含まれております。全社資産は、主に当社グループの余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
4. 減価償却費の調整額15,051千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
5. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	欧州	合計
19,502,003	750,345	4,212,781	2,264,265	26,729,396

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	北米	欧州	合計
339,822	142,638	104,421	107,272	694,154

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上である顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	欧州	合計
24,371,791	1,215,296	5,797,410	2,867,879	34,252,376

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	北米	欧州	合計
466,288	136,864	154,074	133,242	890,470

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上である顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

（単位：千円）

	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	132,440	—	—	—	132,440

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

（単位：千円）

	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	4,862	—	244,505	—	249,367

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

（単位：千円）

	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	243,160	30,795	—	—	273,956
当期末残高	447,497	64,157	—	—	511,654

（注）当連結会計年度において、「デバッグ・検証事業」セグメントに係るのれんの減損損失 132,440 千円を計上しております。

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

（単位：千円）

	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	369,864	30,795	—	—	400,659
当期末残高	2,343,804	33,361	—	—	2,377,166

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年2月1日 至 2022年1月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
1株当たり純資産額	413.64 円	467.17 円
1株当たり当期純利益	55.99 円	59.16 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	55.96 円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)	当連結会計年度 (自 2021年2月1日 至 2022年1月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,119,993	2,241,103
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,119,993	2,241,103
普通株式の期中平均株式数(株)	37,865,200	37,881,028
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	18,393	—
(うち新株予約権(株))	(18,393)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。